

業務委託契約書（案）

- 1 業 務 名 五所川原市立学校給食センター消防用設備等点検業務
- 2 業 務 場 所 五所川原市立学校給食センター
- 3 履 行 期 間 契約を締結した翌日から令和9年3月31日
- 4 契 約 金 額 ￥ _____ ー（うち消費税及び地方消費税￥ _____ ー）
- 5 契約保証金 五所川原市契約事務規則第33条第1項第6号の規定により免除

五所川原市教育委員会（以下「発注者」という。）と _____（以下「受注者」という。）
とは、上記の委託業務について、次の条項により契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

この契約の成立を証するため、この契約書を2通作成し、発注者及び受注者が記名押印し、各自その1通を保有するものとする。

令和8年 月 日

発注者 五所川原市字布屋町41番地1
五所川原市教育委員会
教育長 原 真紀

受注者

(総 則)

第1条 受注者は、別記「仕様書」に基づき、頭書の委託金額で、頭書の履行期間内に頭書の業務場所における頭書の委託業務を完了するものとする。

2 別記「仕様書」に定めのない事項又は疑義が生じたときは、発注者と受注者とで協議して定めるものとする。

(権利義務の譲渡等)

第2条 受注者は、この契約によって生ずる権利並びに義務を第三者に譲渡、もしくは継承してはならない。

(再委託の禁止)

第3条 受注者は、この契約業務の処理について、その全部または一部を他に委託し、あるいは請け負わせてはならないものとする。ただし、書面により、発注者の承諾を得たときは、この限りでない。

(委託業務の調査等)

第4条 発注者は、必要があると認めたときは、委託契約の履行状況について調査を行い、または報告を求めることができるものとする。

(業務内容の変更)

第5条 発注者は、必要に応じ、委託業務の内容を変更し、または、委託業務を一時中止させることができるものとする。この場合において、委託金額または履行期間を変更する必要があるときは、発注者と受注者とが協議して決めるものとする。

(履行期間の延長)

第6条 受注者は、受注者の責に帰することができない理由により履行期間内に委託業務を完了することができないことが明らかになったときは、発注者に対しその理由を付し、履行期間の延長を求めることができるものとする。ただし、その延長日数は発注者と受注者とが協議して決めるものとする。

(損害による必要経費の負担)

第7条 委託業務の処理により、発生した損害（第三者に及ぼした損害を含む。）の必要経費は受注者が負担するものとする。ただし、発注者の責に帰する理由により損害が生じたときの経費は発注者が負担するものとし、その額は発注者と受注者とが協議して決めるものとする。

(検査及び引渡し)

第8条 受注者は、委託業務を完了したとき、遅滞なく業務完了届を発注者に提出するものとする。

2 受注者は、委託業務の成果に係る報告書をもって、前項の業務完了届に代えることができるものとする。

3 発注者は、前項の報告書を受理したときは、これを受理した日から起算して14日以内に委託業務の成果について検査を行うものとする。

4 前項の検査の結果、委託業務の成果について補正あるいは再調査の必要ありと発注者が認めたときは、受注者は遅滞なく当該補正あるいは再調査を行い、再び発注者の検査を受けるものとする。

5 委託業務の成果の引渡しは、前項または前々項の検査に合格したときをもって完了したものとする。

(委託金の支払い)

第9条 受注者は、前条の規定により引渡しを行ったとき及び消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書が提出されたときの年2回に契約金額を分割し、発注者に対して支払を請求するものとする。

2 発注者は、前項の支払請求書を受理したときは、その受理した日から起算して30日以内に、受注者に委託金を支払わなければならない。

(秘密の保持)

第10条 受注者は、委託業務の処理上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(履行期間超過の延滞利息)

第11条 受注者の責に帰する理由により、履行期間内に委託業務を完了することができない場合は履行期限の翌日から履行の日までの日数に応じ、委託金の3.0パーセントの割合で計算して得た金額を延滞利息として発注者に支払わなければならない。

(契約の解除)

第12条 発注者は、次に掲げる一の理由が生じた場合、この契約を解除することができる。

(1) 受注者の責に帰する理由により、履行期限までに委託業務を完了することができないと認めたとき。

(2) 受注者が、この契約に違反し、または、不完全な履行をしたとき。

2 前項の場合、受注者は、委託金の100分の5以上に相当する金額を違約金として発注者に支払うものとする。

(疑義等の決定)

第13条 この契約に定めない事項またはこの契約について疑義が生じたときは、その都度五所川原市契約事務規則に定めるところによるほか、発注者と受注者とが協議して決めるものとする。